産業上の使用者に対する質問状

1. 本質問状の構成は、以下のとおりです。
2. 調査項目A

貴社の企業概要、貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路、購入等に関する一般的情報を求めるものです。

1. 調査項目B

貴社の調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況に関する情報を求めるものです。

1. 調査項目C

貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の価格に変化をもたらす要因等に関する情報を求めるものです。

1. 調査項目D

貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較に関する情報を求めるものです。

1. 調査項目E

調査対象期間後に調査対象貨物の輸入が本邦の産業に実質的な損害が生ずるおそれに関する情報を求めるものです。

1. 本質問状の回答作成責任者及び回答作成担当者について記入してください。
2. 回答作成責任者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 |  | |
| 企業名 |  | |
| 所属 |  | |
| 役職 |  | |
| 所在地 | 〒 　　　（「－」無しで記入してください） | |
|  | |
| 連絡先 | 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

1. 回答作成担当者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 |  | |
| 所属 |  | |
| 役職 |  | |
| 所在地（1）と異なる場合に記入 | 〒 　　　（「－」無しで記入してください） | |
|  | |
| 連絡先 | 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

## 調査項目A 　　一般的情報

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社の企業概要、貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路、購入等に関する一般的な情報を求めるものです。 * 調査対象期間は特に記載のない限り、平成30年（2018年）1月1日から令和5年（2023年）9月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

A-1　企業概要

貴社の企業概要を回答してください。また、貴社の概要が記載されたパンフレット等がある場合には**添付資料A-1**として添付してください。

A-1-1　企業名

|  |
| --- |
|  |

A-1-2　代表者氏名

|  |
| --- |
|  |

A-1-3　本社所在地

|  |
| --- |
|  |

A-1-4　主要株主の名称及び株式の保有割合（調査対象期間末（令和5年（2023年）9月30日）現在で記入してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 株主名称 | 保有割合 | |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |

（注）貴社の議決権に係る株式の5％以上を所有していた株主について記入してください。

A-2　関連企業概要

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の生産・販売・輸入・使用等をしていた貴社の関連企業がある場合には、当該企業の概要を回答してください。なお、当該関連企業が複数ある場合は、回答欄（調査項目A-2-1からA-2-7）を複製して記入してください。また、当該関連企業の概要が記載されたパンフレット等がある場合には**添付資料A-2**として添付してください。

A-2-1　関連企業の企業名

|  |
| --- |
|  |

A-2-2　関連企業の代表者名

|  |
| --- |
|  |

A-2-3　関連企業の本社所在地

|  |
| --- |
|  |

A-2-4　関連企業の業務概要

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物に関する以下の各項目について、「有」又は「無」のいずれかを選択してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生産 | 販売 | 輸入 | 使用 | 当該関連企業から  貴社が購入しているか |
| 有 |  |  |  |  |  |
| 無 |  |  |  |  |  |

A-2-5　関連企業の業務の詳細

|  |
| --- |
|  |

A-2-6　関連企業と貴社の関係

|  |
| --- |
|  |

A-2-7　関連企業の株主

貴社の生産又は販売に係る関連企業の調査対象期間末（令和5年（2023年）9月30日）現在の主要株主の名称及び株式の保有割合を回答してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 株主名称 | 保有割合 | |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |

（注）当該関連企業の議決権に係る株式の5％以上を所有していた株主について記入してください。

A-3　販売流通経路

調査対象期間中に、貴社が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路について、**様式A-3**に説明してください。

A-4　市場価格、需要、供給の動向  
A-4-1　調査対象期間中の市場価格、需要、供給の動向

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、調査対象期間における国内及び国外（中国及び第三国）の①市場価格、②需要及び③供給それぞれの動向及び要因を、具体的な時期及び対象となる品種（呼び径及び用途）を示しつつ説明してください。なお、国外での黒鉛電極に対する不当廉売関税措置等による影響がある場合には当該影響も含めて説明してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | ①市場価格の動向  及び要因 | ②需要の動向及び要因 | ③供給の動向及び要因 |
| 国  内 | |  |  |  |
| 国外 | 中国 |  |  |  |
| 第三国  （国名を記載） |  |  |  |

A-4-2　調査対象期間後の市場価格、需要、供給の動向の変化の見込みの有無

調査対象期間後の国内及び国外の①市場価格、②需要及び③供給の動向について、何らかの変化があると考えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

A-4-3　調査対象期間後の市場価格、需要、供給の動向の変化の見込みの内容

上記A-4-2において、「有」と回答した場合には、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、国内及び国外（中国及び第三国）の①市場価格、②需要及び③供給それぞれの動向及び要因を、変化が見込まれる時期及び対象となる品種（呼び径及び用途）を示しつつ説明してください。なお、国外での黒鉛電極に対する不当廉売関税措置による影響がある場合には当該影響も含めて説明してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | ①市場価格の動向  及び要因 | ②需要の動向及び要因 | ③供給の動向及び要因 |
| 国  内 | |  |  |  |
| 国外 | 中国 |  |  |  |
| 第三国（国名を記載） |  |  |  |

A-4-4　市場価格、需要、供給の動向の変化の見込みに関する資料

黒鉛電極の 将来の市場予測について記述、検討・分析を行っている事業計画書又は内部文書、定量化・分析を行っている研究結果、調査結果等がある場合には、**添付資料A-4-4**として提出してください。

調査項目B　　調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社の調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況に関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、平成30年（2018年）1月1日から令和5年（2023年）9月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

B-1　貴社の購入貨物の状況

調査対象期間中に貴社及び関連企業が輸入又は購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、生産量、輸入量、購入量、使用量、国内販売量、在庫量及びそれらの金額を、以下の１．から３．に関する事項を記入要領に従って、**様式B-1**に回答してください。なお、回答に当たっては、以下の①から⑤に留意してください。

①調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の輸入・購入等を行う貴社の関連企業（「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料1】用語の定義（４）を参照してください。）がある場合は、貴社単独の回答、貴社の関連企業単独の回答及び企業グループ全体としての回答をそれぞれ作成してください。なお、関連企業単独及び企業グループ全体について回答する場合は、下記記入要領の「貴社」を「関連企業」又は「企業グループ全体」に読み替えてください。

②複数の品種の黒鉛電極を扱っていた場合は、全ての品種を合算して回答してください。

③「１．（４）使用量」については、**様式B-3**の回答と数値を整合させてください。

④「２．金額」については、最終的に確定した額を税抜きで記入してください。

⑤各項目において実績や回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。

（記載要領）

| 項目 | | 記入要領 |
| --- | --- | --- |
| １．数量及び２．金額 | | |
| （１） | 生産 | 貴社が生産した本邦産同種の貨物の生産量及び金額を回答してください。なお、金額は原価で記入してください。複数の呼び径及び用途がある場合は、呼び径及び用途ごとの内訳を**添付資料B-1-1-(1)**として提出してください。 |
| （２） | 輸入 | 貴社が、調査対象貨物及び第三国産同種の貨物を輸入していた場合、その数量及び金額を回答してください。複数の呼び径及び用途がある場合は、呼び径及び用途ごとの内訳を**添付資料B-1-1-(2)**として提出してください。 |
| （３） | 購入 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物のいずれかを、本邦において他社から購入（輸入ではなく、国内で調達）していた場合（輸入商社等を経由して行った調達を含む。）、その数量及び金額を回答してください。複数の呼び径及び用途がある場合は、呼び径及び用途ごとの内訳を**添付資料B-1-1-(3)**として提出してください。 |
| （４） | 使用 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物のいずれかを使用（貴社内において製品の原材料として使用又は一般市場に参入しない特殊価格で販売（例えば二次製品の原材料として関係会社等に向けて販売））していた場合、その数量及び金額を回答してください。なお、使用額を原価以外で回答した場合、その計上方法を使用額の項目欄の（　）内に回答してください。（記載例：原価に△％利益を乗せた等） |
| （５） | 国内販売 | 貴社が取り扱う調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の国内向け販売数量及び金額について、国内の関連企業向けと非関連企業向けを区別して回答してください。複数の呼び径及び用途がある場合は、呼び径及び用途ごとの内訳を**添付資料B-1-1-(5)**として提出してください。 |
| （６） | 輸出 | 貴社が取り扱う調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物を輸出していた場合、その数量及び金額について回答してください。返品等を差し引いたネットの数量及び金額としてください。 |
| （７） | 期首及び期末在庫 | 貴社が生産した本邦産同種の貨物、輸入した調査対象貨物及び第三国産同種の貨物並びに購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、調査対象期間の各期首及び期末の在庫の数量及び金額を回答してください。 |
| （８） | 数量差異／金額差異 | 貴社が回答した各期の数量及び金額の数字に差異がある場合は、その差異の数値及び金額を回答してください。 |
| ３．数値等の説明 | | |
| （１） | 数量差異及び金額差異の要因について | １．（８）及び２．（８）が「０」以外の場合、その発生要因を具体的に説明してください。 |
| （２） | 増減の要因 | 生産、販売、在庫等に大幅な変動があった場合には、当該変動をもたらした要因及びその影響を具体的に説明してください。 |
| （３） | 経営活動又は組織の変更 | 調査対象期間中における調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の生産に関し、貴社の経営活動又は組織を変更した場合には、その時期、変更内容（例えば、工場規模の拡大、縮小又は休止）及び変更の目的（例えば、合理化の促進等）を説明してください。  また、当該変更を示す証拠（事業計画書等）を**添付資料B-1-3-(3)**として提出してください。 |

B-2　購入に係る変化

B-2-1　購入に係る変動の有無

**様式B-1**の（３）購入について、調査対象期間中に、貴社及び関連企業が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の購入量又は購入額に、大幅な変動はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-2　購入に係る変動の理由

上記B-2-1において、「有」と回答した場合には、その内容及び考えられる理由を具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

B-2-3　購入に係る変動の見込み

**様式B-1**の（３）購入について、調査対象期間後、貴社及び関連会社が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の購入量又は購入額に、何らかの変化があった又はあると考えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-4　購入に係る変動の見込みの内容

上記B-2-3において、「有」と回答した場合には、変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について、詳細に説明してください。また、その前提となる事項やその裏付けとなる資料等を、**添付資料B-2-4**として提出してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 時期 | 内容 | 理由 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

B-2-5　購入パターンの変更の有無

**様式B-1**の（３）購入について、調査対象期間中に、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物に係る貴社及び関連企業の購入パターン（例えば購入頻度等）の変更はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-6　購入パターンの変更の理由

上記B-2-5において、「有」と回答した場合には、その内容及び考えられる理由を具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

B-2-7　購入パターンに係る変更の見込み

**様式B-1**の（３）購入について、調査対象期間後、貴社及び関連会社の購入パターンに、何らかの変更があった又はあると考えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-8　購入パターンに係る変更の見込みの内容

上記B-2-7において、「有」と回答した場合には、変更があった時期又は変更が見込まれる時期、内容及び理由について、詳細に説明してください。また、その前提となる事項やその裏付けとなる資料等を、**添付資料B-2-8**として提出してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 時期 | 内容 | 理由 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

B-3　貴社の生産した製品

調査対象期間中に、貴社が調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物を

使用して生産した製品について、**様式B-3**に回答してください。

B-4　貴社の生産した製品及び技術の動向による需給動向の変化

B-4-1　需給動向に変化を与えた事項の有無

調査対象期間中に、貴社の生産した製品の生産及び技術の動向が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物の需給動向に変化を与えた事項はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-4-2　需給動向に変化を与えた事項の内容

上記B-4-1において、「有」と回答した場合には、その具体的内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

調査項目C　　調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の価格に変化をもたらす要因等

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物に価格変化をもたらす要因等について情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、平成30年（2018年）1月1日から令和5年（2023年）9月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

C-1　購入価格

貴社と取引先との間で調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物の購入価格がそれぞれどのように決定（価格交渉、契約形態、値引き方法等）され、また見直しがされたのか具体的に説明してください。特に、仮価格及び精算価格を設定した場合には、それについても説明してください。

|  |
| --- |
|  |

C-2　割戻し  
（「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（１５）を参照のこと）

C-2-1　割戻しの有無

調査対象期間中に貴社及び関連企業が購入した調査対象貨物又は本邦産同種の貨物について、割戻しはありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-2-2　割戻しの内容

上記C-2-1の回答において「有」と回答した場合には、その内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

C-3　割引  
（「「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」」【資料１】用語の定義（１６）を参照のこと）

C-3-1　割引の有無

調査対象期間中に貴社及び関連企業が購入した調査対象貨物又は本邦産同種の貨物について、割引はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-3-2　割引の内容

上記C-3-1の回答において「有」と回答した場合には、その内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

C-4　価格決定の要因

調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物について、価格の決定に影響がある要因は何だと考えますか。貨物による違いも含め、具体的に説明してください（例えば、原料コスト、本邦産品以外の価格、国内企業の競争の程度等）。

|  |
| --- |
|  |

C-5　本邦産同種の貨物の国内価格に及ぼす影響

C-5-1　本邦産同種の貨物の国内価格に及ぼす影響の有無

調査対象期間中に、本邦産同種の貨物の国内価格が著しく押し下げられ又は国内価格の上昇が著しく妨げられたと考えられるような価格で調査対象貨物が輸入された認識はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-5-2　本邦産同種の貨物の国内価格に及ぼす影響の理由

上記C-5-1において「有」と回答した場合には、具体的な内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

調査項目D　調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社が取り扱った（生産、輸入、購入、販売又は使用した）ことがある調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較に関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、平成30年（2018年）1月1日から令和5年（2023年）9月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

D-1　原産国が異なる製品の取扱い状況

D-1-1　原産国が異なる製品の取扱い状況

貴社が取り扱った（生産、輸入、購入、販売又は使用した）ことのある黒鉛電極の原産国及び品種（呼び径・用途）等を回答してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 500mm未満及び精錬用 | 500mm未満及び製鋼用 | 500mm未満及びその他 | 500mm以上及び精錬用 | 500mm以上及び製鋼用 | 500mm以上及びその他 |
| 原産国 | 日本 |  |  |  |  |  |  |
| 中国 |  |  |  |  |  |  |
| 第三国  (国名：　　　　) |  |  |  |  |  |  |
| 第三国  (国名：　　　　) |  |  |  |  |  |  |
| 第三国  (国名：　　　　) |  |  |  |  |  |  |
| 第三国  (国名：　　　　) |  |  |  |  |  |  |

D-2　代替可能性

D-2-1　原産国が異なる場合の代替可能性

本邦産同種の貨物に対する調査対象貨物及び第三国産同種の貨物の代替可能性の有無について、**様式D-2-1**に回答してください。

D-2-2　代替可能性の内容

上記D-2-1において、「一定の条件を満たせば代替可能」と回答した場合には、貴社が本邦産同種の貨物に代えて調査対象貨物又は第三国産同種の貨物を取り扱うに当たり、その特性等相違を許容すれば代替が可能となる、あるいは、産業上の使用者が生産する製品の設計又は仕様の多少の変更によって代替が可能となるなど、その条件の内容を**様式D-2-2**に回答してください。

D-2-3　代替が不可能な理由

上記D-2-1において、「代替不可能」と回答した場合には、その理由を**様式D-2-3**に回答してください。

D-2-4　原産国が異なる場合の代替可能性の変化の見込みの有無

貴社が取り扱った調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の間の代替可能性について、将来（調査対象期間後）何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-2-5　原産国が異なる場合の代替可能性の変化の見込みの内容

上記D-2-4において、「有」と回答した場合には、その変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について説明してください。また、当該変化による輸入量及び価格等への影響について説明してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 | 輸入量及び価格等に対する影響 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

D-3　品種間の相違の状況

D-3-1　品種間の相違点

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、品種間で比較した場合、その物理的及び化学的特性や最終的な用途に関する相違点の有無を**様式D-3-1**に回答してください。

D-3-2　相違の内容

上記D-3-1において、相違点が「有」と回答した場合には、その内容を**様式D-3-2**に回答してください。

D-3-3　品種間の相違の変化の見込みの有無

黒鉛電極の品種間における物理的及び化学的特性や最終的な用途に関する相違点について、将来（調査対象期間後）に何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-3-4　品種間の相違の変化の見込みの内容

上記D-3-3において、「有」と回答した場合には、その変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

D-4　品種間の市場における競合

D-4-1　品種間の市場における競合

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、品種間で比較した場合、その市場における競合の有無を**様式D-4-1**に回答してください。

D-4-2　競合の内容

上記D-4-1において、競合が「有」と回答した場合には、競合した内容及び競合が生じた背景を**様式D-4-2**に回答してください。

D-4-3　品種間の市場における競合の変化の見込みの有無

黒鉛電極の品種間での市場における競合について、将来（調査対象期間後）に何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-4-4　品種間の市場における競合の変化の見込みの内容

上記D-4-3において、「有」と回答した場合には、その変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について、対象となる品種（呼び径及び用途）も示しつつ、説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |

D-5　貴社が購入する際に重視する事項

D-5-1　貴社が購入する際に重視する事項

貴社が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物を取り扱うに際し、重視した事項（例えば、価格、決済条件、品質、輸送網（輸送ネットワーク）、安全性、品揃えの幅（製品レンジ）、技術援助（技術サポート）、供給安定性、配送期間、規格（JIS等）等）について、その重視する度合いを5段階評価で**様式D-5-1**に回答してください。

なお、最も重視する場合を5、最も重視しない場合を1としてください（重視する程度が同程度である場合には、複数の項目について同じ評価となることもあり得ます）。また、原産国や品種によって重視する事項が異なる場合には、原産国や品種ごとに書き分けてください。

D-5-2　重視する事項の相違点

D-5-2-1　重視する事項の相違点の有無

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物を異なる原産国間で比較した場合、原産国の違いによって重視すると考える事項に相違があると考えますか。また、その相違は、原産国間の競合状態に影響を及ぼしていましたか。**様式D-5-2**に回答してください。

D-5-2-2　相違の影響

上記D-5-2-1において、重視する事項の相違が原産国間の競合状態に「常に影響を及ぼす」又は「場合によっては影響を及ぼす」と回答した場合には、当該要素、その要素についてどのような相違があったのか、また、その背景並びに当該相違が競合状態にどのような影響を及ぼしていたのかについて、**様式D-5-2**に回答してください。

D-5-3　重視する事項の変化の見込みの有無

　貴社が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物を取り扱うに際し、将来（調査対象期間後）に、貴社が重視する事項の変化の見込みがありますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-5-4　重視する事項の変化の見込みの内容

上記D-5-3において、「有」と回答した場合には、その変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

D-6　制限的な商慣行

D-6-1　制限的な商慣行による阻害の有無

貴社が調査対象期間中に取り扱った調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物の取引は、公正かつ自由な競争状態においてなされましたか。それとも制限的な商慣行等により公正かつ自由な競争状態が阻害されていたといった実態はありましたか。制限的な商慣行等による公正かつ自由な競争状態の阻害の有無について、次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-6-2　制限的な商慣行の内容

上記D-6-1において制限的な商慣行等による公正かつ自由な競争状態の阻害が「有」と回答した場合には、その具体的内容を回答してください。

|  |
| --- |
|  |

D-7　調査対象貨物及び同種の貨物の代用品

D-7-1　代用品の有無

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物以外に、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物と同じ目的で使用することのできるもの（代用品）がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-7-2　代用品の説明

上記D-7-1において、「有」と回答した場合には、その名称、物質の特性を含め詳細を説明してください。

また、貴社が生産した製品について、その特性等の多少の相違を許容すれば代用が可能となる、あるいは、生産した製品の設計又は仕様の多少の変更によって代用が可能となる場合等、代用品で代用するに当たり一定の条件が満たされる必要がある場合には、その内容を説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 代用品の名称及びその特性 | 代用のための条件 |
|  |  |
|  |  |

D-8　その他の情報

その他、提供すべき情報があれば、記入してください。

|  |
| --- |
|  |

調査項目E　調査対象期間後に調査対象貨物の輸入が本邦の産業に実質的な損害が生ずるおそれに関する情報

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、調査対象期間後に調査対象貨物の輸入が本邦の産業に実質的な損害が生ずるおそれに関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、平成30年（2018年）1月1日から令和5年（2023年）9月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答にかかる根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

E-1　調査対象期間後の事業への影響

E-1-1　調査対象期間後の事業への影響の有無

調査対象貨物について、調査対象期間後、貴社の事業に影響を与えるような変化が生じましたか、又は生じることは見込まれますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

E-1-2　調査対象期間後の事業への影響の内容

上記E-1-1において、「有」と回答した場合には、その変化があった時期又は変化が見込まれる時期、内容及び理由について、対象となる品種（呼び径及び用途）も示しつつ、説明してください。また、その見込まれる影響の内容及び根拠を示す資料を**添付資料E-1-2**として提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|